

会長挨拶

第4代同窓会会长
元勝田高等学校PTA会長
黒澤 敦（第5回生）



創立45周年勝田高校同窓会祝賀会に際して

本年も、このように多くの同窓生の皆様にご参加をいただき、創立45周年となります勝田高校同窓会祝賀会が開催できることを、心より嬉しく思います。

さる3月1日には第42回となる卒業式が母校にて行われ勝田高校の卒業生であると言う新たな私たちの仲間がそれぞれの進路へと踏み出しました。

すでに約10,000名をこえる勝田高校の同窓生ですが、地域社会におきまして色々な場で活躍しております。現在の勝田高校には 6人のOBが先生として母校の生徒を指導されています。

また地元のひたちなか市役所には90名の歴代の卒業生が勤務されており、市議会にも二人の卒業生が議員として活躍しております。

さらに、民間企業においても多くの卒業生がお互いに連絡を取り合いながら、ネットワークを広げています。

この、勝田高校の卒業生であると言うひとつの共通項をもとに、互の親睦を深め発展させることが同窓会の大きな役割の一つではないかと考えております。

本日の祝賀会には、地元茨城県のみならず周辺都県から多くの卒業生や恩師の先生方にご参加いただきました。

また、今総会の開催にあたりまして、勝田高校の

先生方はもちろんのこと、同窓会を盛り上げようと年齢に関係なく熱い心を持った卒業生が集まり、話し合い、時には意見をぶつけ合いながら準備を進めてまいりました。

彼らの熱意と行動力と先輩を先輩とも思わない団々しきが無かつたら、このような総会及び祝賀会は開催できなかつたかもしれません。心から感謝いたします。

今後も、同窓会の親睦のため、母校の発展のため、そして何よりも今勝田高校で学ぶ生徒たちのために尽力してまいりますので、同窓会活動に関しましても皆様のご理解とご協力を、よろしくお願ひいたします。



勝田高等学校 第1回入学式 勝田工業高校体育館にて



勝田高等学校開校当初の様子

学校長挨拶

茨城県立勝田高等学校長
長岡 省一

同窓会員の皆様には、
平素より本校教育活動に
多大なるご支援とご協力
を賜り、厚く御礼申し上げ
ます。

また、本年は、昭和48(1973)年に創立されてから45年の節目を迎え、盛大に平成29年度勝田高等学校同窓会総会が開催されますことに、心よりお慶び申し上げます。

本校は、地元の熱い期待をいただいて、「生命の尊さを自ら体得し 心身をいとおしんでその育成に努め 隣人と協力して明日の郷土を拓こう」の校訓のもと、これまでに一万名を越える人材を世に輩出いたしました。近年は、安定した進学実績を上げるまでになり、特に平成28年度の卒業生は、国公立大学合格者が38名となり、現役での合格者数としては過去最高となりました。これも本校職員のきめ細かな進学指導の成果であると自負しております。また部活動の加入率は80%を超え、身体的・技術的な能力ばかりでなく、協調性や自主性、強い精神力などを養う場としても活発な活動が展開されております。

本校では、「授業第一」をモットーしております。また、従前から「挨拶、時間、身だしなみ」を重点に教育活動を展開しております。今後もこれを継続し、さらに今年度は「Academic(学究的な、つまり授業第一に), Aggressive(意欲的な、つまり何事にも積極的に取り組み), Artistic(風雅あるいは洗練された、つまり洗練された言動をとる)」という「トリプルA」を生徒及び職員で実践しております。

本校としましては、今後の更なる発展を目指し、教職員・生徒一丸となって信頼される学校づくりを進めてまいりますので、皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



学校内幹事挨拶

勝田高等学校職員
鈴木 昌幸
(第5回生)

創立45周年記念総会・
祝賀会開催おめでとうご
ざいます。



母校である勝田高校に赴任して12年目になりますが、近年の進路指導面での成果には目を見張るものがあります。特に昨年度は、地元の茨城大学に15名もの合格を果たした他、東北大、横浜国立大等の難関を含めて国公立大学に38名の合格者がいるなど、その実績の伸びは本当に素晴らしいと感じております。これもひとえに後輩である生徒たちがよく頑張った結果だと思いますし、またもちろん、そこには本校職員による懸命な指導がありました。

さてこうした躍進はたいへんうれしい限りなのですが、一方でもう一つ、最近とても喜ばしく感じていることがあります。

それは、生徒の生活状況についてです。最近の本校生は総じて素直さや謙虚さを有する者が多く、真面目であり、何事にも一生懸命に取り組むことができます。また礼節を知ることや時間を守ること等の学校生活上のマナーがたいへんよく身についています。例えば服装や頭髪等の身だしなみで注意を受ける生徒もほとんど見られなくなり、学校の中と外とに関わらず、皆が制服をきちんと清潔に高校生らしく着こなして生活しています。これは見ていてたいへん清々しく、本校の評判を高めることにもつながると考えています。

このように生活一般に対する心構えがしっかりと整っていることは、高校生活に限らず今後の人生をよりよく生きていく上で必ず求められるものです。また「心が育てば学力も伸びる」と言いますが、このことは近年の進路実績にもつながっているのではないでしょうか。

職員として、また勝高生の先輩として、今の後輩たちを誇らしく思うと同時に精一杯ほめてやりたい気持ちです。同窓会の方々におかれましても、可愛い後輩たちを、引き続き温かく見守っていただけますようお願い申し上げます。

役員紹介

会長	黒澤 敦 (5)
副会長	阿久津 隆男 (7)
	大谷 浩一郎 (9)
事務局	佐藤 久彰 (13) (事務局長)
	大畠 雅弘 (13)
	鈴木 道夫 (27)
会計	小池 光浩 (7)
監査	太田 真理子 (13)
常任幹事	斎藤 文隆 (2)
	鹿志村 武史 (5)
	佐藤 真人 (7)
	植野 健一 (10) 新
	平野 壱久 (11)
	萩谷 公康 (11)
	大内 浩 (11)
	大貫 但尚 (11)
	人見 孝 (13)
	鬼澤 豊孝 (13)
	黒澤 務 (13)
	俵 はるみ (13)
	藤谷 美幸 (13)
	中里 隆幸 (13)
	国井 謙一 (13) 新
	関谷 久美子 (13) 新
	高丸 誠司 (14) 新
	中村 優子 (14) 新
	堀川 智也 (18) 新
	岡崎 伸一 (19)
	畠山 元気 (22)
	鈴木 達也 (22)
	大内 聖仁 (24)
	石田 拓郎 (26)
	七部 努 (27)
	高野 龍 (31) 新
	櫻井 瑶子 (41)
	門脇 梓 (42)

顧問	永井 資郎 (1) (初代会長)
	柳田 尚久 (1) (前会長)
	大貫 裕治 (1) (前監査)
	野木 滋 (2) (前副会長)

PTA会長挨拶

茨城県立勝田高等学校 P T A会長
飛田 剛志



先日の P T A総会にて、平成 29 年度の P T A 会長を仰せつかりました飛田と申します。平成 29 年度茨城県立勝田高等学校同窓会総会が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

昨年は、 P T A副会長として活動をしてまいりましたが、第 4 代同窓会会长の黒澤様を中心に同窓会の皆様の団結力を目の当たりにし、正直なところ驚いております。ひたちなか市的第一高等学校としての誇りや愛校心にはなみなみならないものがあると思いました。私の自論かもしれません、良い生徒良い学校であるということは、その親である私たちが良い人間であり良い関係を築いているかということだと思います。そういう点からすると、このようなしっかりとした同窓会を築いているからこそ、現在の勝田高校があるのでないでしょうか。私たちの高校時代とは違っていろいろな面で難しい教育環境だと思いますが、同窓会の皆様とご父兄の皆様そして先生方と一致団結していれば、ますます良い高等学校になると思っています。

至らない点も多々あると思いますが、勝田高等学校の更なる発展のために頑張りますので、今後も同窓会の皆様のご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申しあげます。

人が創る 45 年の轍

第三代同窓会会长
柳田 尚久 (第 1 回生)



そうですか、45 年。私は今年で還暦。時の流れの早さに、呆然としながら過ごす日々。振り返ると、デコボコの轍が見える。

何をしなくとも過ぎていく時間。意味あることが凝縮されている時間も同じ時間。それぞれの生き方 (夢や希望や挫折) や考えや思いがつまっているはずの 45 年。

勝田高校同窓会の歩みは、ここ数年で急激に活発になってきた。人と人とが、ただ勝田高校を卒業したと言う共通点だけで、つながっていくと言うのは、なんと素敵なことか。その輪が徐々に広がっていく、大きなうねりとなって、新たな力を生み出していく。

黒澤会長を中心に、これからも同窓会が人と人のつながりを広げ、ひたちなか市、いや茨城県の中で独特の光彩を放ち、ますます存在感が大きくなっていくことを！

私たち一人一人が懸命に生き抜いていくことで、新たな轍は創られていく！

お知らせ



夏の全国高校野球茨城予選、母校を応援しませんか！ 今年は、7月9日です！

同窓生による熱い応援が繰り広げられております！在校生の時とは一味違った、なにやらとっても楽しいんです。

奮ってのご参加お待ちしております



昨年大好評の親睦列車。ご家族でどうぞ♪今年は9月2日です！

地元ひたちなか海浜鉄道を一両貸切って、走る車両で親睦会。ご家族参加が三組も。お子様も元気！この列車が初めての同窓会参加の方も多かったのも印象的でした。とにかく何やら楽しいのです(#^^#)奮ってのご参加お待ちしております



文化事業も行っています！ 世界に誇る話芸、人間国宝も生み出す「落語」を味わって下さい！

恒例！始まりますと引き込まれ、笑い、ときどき、ほろりと涙。二笑亭ちゃん平師匠の独演会。嘶は「幾代餅」では商家の様子と恋愛事情、そして結ばれてからの成功譚に笑いと涙。「禁酒番屋」では、武家と商家の知恵比べ、酒の呑みよう醉いようがまた芸の素晴らしさで、大いに笑って頂き、そのまま忘年会へ。

落語の魅力にはまった貴兄も多かったのが印象的でした。今年は12月2日開催です。
奮ってのご参加お待ちしております

お知らせ

母校の教壇で、現役生に仕事に関する講演をお願いします

県、あるいは学校の公式事業でもあるキャリア教育講習会に同窓会も深く協力しております。

将来や進路に不安や思い悩む現役高校生に、その道のエキスパートとして、人生観、職業観などを講演して頂いてます。

こういう場に立つことで、改めて自分自身振り返る格好の機会でもあると思います。

学生さんだけではなくご自身を振り返るためにも是非ともご利用してみてはいかがでしょうか。

毎年12月～1月ごろ、公式HP、メールマガジン、FBなどでお声掛けさせて頂きます。



第5回勝田高等学校同窓会主催 フォトコンテスト開催します！

恒例！フォトコンテスト。プロの写真家岡崎さん（19回生）による写真講座を用意するなど在校生だけではなく、同窓生を含めて楽しめた企画でした。

今回は、コンパクトデジタルカメラ、一眼レフなども含めより高度な技を競って頂けるものと期待です。

同窓生の皆さんには、参加はもちろん昨年同様、**ご協賛を是非ゼヒよろしくお願いします**（＾＾ゞ

・協賛1口 5000円

ポスター／ホームページ等で告知致します

同窓会では、様々な親睦を深める事業をご用意しております
もちろん新事業も練っておりますよ！
是非、友人知人を誘ってのご参加お待ちしております♪

会員寄稿

一枚の写真から

大枝 智佳子（第7回生）

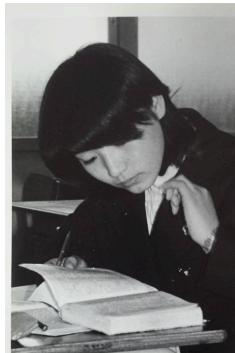
昨夜の予習が終わらなかつたのか、休み時間に単語調べをしている。

同窓会が開催されるとの知らせで、アルバムを開いてみて見つけた在学中の姿。いつ撮られたのかも気つかなかつた。写真はその場を切り取る物だが、その時クラスメートがどんな時間を過ごしていたのだろう。

最近になってカメラを趣味としているが、在学中にカメラを手にして残していたかった一瞬一瞬がある。長い廊下を 広角レンズで撮る。一年生の時は学年ひとつの差がとても大きく感じられ、廊下の先の先輩が遠い未来に思えた。ベランダから校庭を見おろして、ズームレンズで走る憧れのひとをとらえたくて、今よりもきっとウデは上達していたはずだ。

少し前から、在校生卒業生を対象にした「写真講座」を開催しているのをご存知でしょうか。残念ながら私はまだ参加が叶っていないが。母校を訪ねるきっかけにするには絶好な企画だ。次回の日程発表が待たれる。

先日同窓生達と飲む機会があった。それぞれのスマホには在学中の写真が保存されていて、見せ合いながら記憶をたどって話しがつきなかつた。経年変化に笑いも起つ。寄稿の締め切りにあわてるのは、あの頃の休み時間の自分と変わっていないといわれそうだ。



同窓会によせて

鬼澤豊孝（13回生）
ラグビー部

『ポコ』って呼ばれます。私は濃いめの顔をしていて、仕事柄、日に焼けていくけど。。勝田高校の同窓会でも、『濃い人がいた』ってすぐに顔を覚えてもらえるようです。初対面では、人見知りしてしまう方なんですが、"外国人ネタ"で笑ってもらえるので、気楽に話せるようになりました。和気あいあいと交われる、高校の同窓会で色々な人を見ると、『勝高色』を感じます。皆、明るく真面目だなあ、と。。。大人になり、社会に出ても『勝高色』を忘れずにいきましょう。



同窓会に寄せて

高丸 誠司（第14回生）

ひたちなか・東海広域事務組合消防本部
救急救命士／P T A副会長／ラグビー部

我が母校の勝田高校が創立45周年を迎えるに喜ばしいことと思うと同時に、卒業してから約30年、時が経つ早さまた、同窓生が1万人を超えたことに、はなはだ驚きました。

高校時代の頃は、いつも授業中寝ており友達とバカばっかりして、テストの度に何かしら赤点があったこと、ドラマ、スクール☆ウォーズに憧れて？入ったラグビー部、先輩方から厳しく指導して頂きました、仲間達と楽しく過ごした3年間でした。

そんな記憶しかないのですが、現在、娘も勝高にお世話になり、息子も在校生として通っています。幸いにも赤点をとつていませんが、親子でお世話になっていることから、母校への貢献と恩返し、学校と保護者の橋渡しに尽力したいと思いP T Aの役員をやらせていただいている。

これから同窓会と母校の益々の発展を心よりご祈念申し上げます。



高校生活を振りかえって

高野 龍（第31回生）

今でも覚えてますが高校合格発表の日、掲示板を見るより早く、校門近くで先に行っていた友人から「合格しているよ」と伝えられました。もちろんうれしかったのですが、何かあっけなく、自分のイメージしていた感動の合格発表とは違うものになってしまいました。



しかし、高校生活の3年間は、とても過ぎ去るのが早く、充実したものであったと思います。体育祭では、担任の先生の顔をプリントしたおそろいのTシャツを作成し、一致団結を図ったことや練習では結果が悪かった大縄跳びが本番では学年1位になり、全員で大喜びしたことなどここでは記せないほどの思い出がよみがえってきます。ただ、1年時には、J C O臨界事故があり、連日のニュースや学校が休校等になり事故の重大さを認識したことでも記憶に残っています。

会員寄稿

最後になりますが、かけがいのない高校生活を勝田高校で過ごせ、また職場にもOBが多くいることに感謝をし、勝田高等学校同窓会のますますのご発展を祈念申し上げます。

勝田高校での日々ー今につながる3年間

天野 真希（37回生）

私が高校を卒業して6年がたちました。高校生活は毎日充実しており、クラスマッチや野球応援、修学旅行などの行事はもちろんのこと何気ない日常でさえ楽しく、思い出は語りつくせないほどあります。その中で印象に残っている出来事の一つが東日本大震災です。当時は2年生で、授業中に地震が発生したことは今でも鮮明に覚えています。その影響で福島から転校生も来ており、最初は不安でしたがすぐに打ち解けることができました。

3年に一度開催される勝苑祭では、一般公開ができず内部だけの開催となりましたが、いい思い出となりました。勝高生の良さは何事も全力で取り組むところだと思います。学習面においてもおののの目標に向かって切磋琢磨したことが今につながっていると感じます。

現在はひたちなか市役所の社会福祉課に勤務しております。忙しい毎日ですがとても充実しています。社会人となった現在でも高校の友人とは連絡を取っており、これからもこのつながりを大切にしていきたいと思います。

勝田高校在学中の思い出と現在の近況

安 竜司（39回生）

勝田高校を卒業してはや3年がたち、高卒でひたちなか市役所に入所して4年目を迎えました。

在学中を思い返すと、野球部に所属していたため部活動に明け暮れた日々が真っ先に思い出されます。

私の高校野球生活は決して順風満帆ではなく、常にけがを抱えた状態での活動でした。しかし、そ



んな中でも先輩方をはじめ周りの方々、特に同級生のチームメイトからはたくさん支えられ、つらい練習などでも耐え抜いて最後までやり遂げることできたことは、私の人生において一生の財産だと感じています。

ひたちなか市役所に入所したばかりのときは、社会の右も左もわかりませんでしたが、職場の多くの諸先輩方からご指導いただきながら、少しづつ成長をさせていただいている毎日です。これからも勝田高校の卒業生として誇りを持ち、自分自身先輩方のように模範となるような社会人となるよう日々努力を重ねていきたいです。

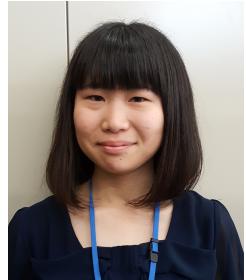
勝田高等学校で得たもの

須田 千尋（41回生）

私が勝田高校を卒業してから一年が経過しました。学業と部活動を両立させている勝田高校で自分を成長させたいと思い入学し、一生の友、後輩、先輩方と切磋琢磨しながら勉学や部活動に励んできました。時にはつらいことや悔しいこともありましたが、隣にはいつも仲間がいて、乗り越えることができました。また、何事も全力で向き合う先輩方の姿を間近で見られたことは、自分を大きく成長させることのできる、とても貴重で恵まれた環境でした。この経験があったからこそ、今の私があるのだと考えます。

現在はひたちなか市職員として日々業務に励んでおります。二年目となり、業務にも少しづつ慣れ自信がついてきたところではありますが、戸惑うことや自分の仕事に疑問を感じことがあります。そのような時に、勝田高校出身の先輩方からの助言や、仕事に対して真摯に向き合う姿勢を示してくださるお陰で、怖気付かずに仕事を遂行していく大切さに気付かされ、自分自身の大きな励みとなっております。

尊敬する先輩方と同じ勝田高校の卒業生という誇りを持って、これからも邁進してまいります。





★同窓会に参加しよう！

- 1) イベントや事業のお誘いは、下のQRコードからメールアドレスやお名前などの登録をお願いします。
- 2) 役員会に参加しよう。役員会では、事業の計画・予算の執行・委員会の設置をし、顔の見える形で運営されています。現在、同窓会では、若い方々のご意見を渴望しております。是非とも、お力を貸して下さい。

案内は、先ほどのメール、勝田高等学校F B支部、公式ホームページで案内します。



●編集後記：60年。還暦、本卦還り。いろいろ表現はございますが、我勝田高等学校1回生は本年、それを迎えることに。なにやらズシッと来る、1回生の皆さまにとっても、同窓会にとってもマイルストーンとも言うべき今日の日です。歴史が深みを増すといいましょうか、何やら感慨深いものです。話は変わりますが、先日、ライブに行きますと18歳の女性のアーティストさん。「大人になるって何ですか？」と歌詞の中で数回問われました・・・。呑んでいたけど覚めました^^;いろいろ答えを持ち合わせているつもりですが、知命の五拾を目前に、不惑の四拾が長引きそうですね（さ）

勝田高等学校 同窓会



校歌

田口五郎：作詞

臼井英男：作曲

筑波の峯の空青く
白雲あわく よぎるとき
ああたらさきの 学舎に
伸びゆくいのち
われら ひらかん

旭日高き 東海に
熱砂をかたく ふみしめて
おお建学の 意気高く
限りあるみの
ちから ためさん

那珂の流れに 波さわぎ
暗雲ふかく とざす日も
いざともがらよ 手をとりて
明日の郷土を
ともに になわん



茨城県立勝田高等学校同窓会
<http://katsuta-ob.org>
info@katsuta-ob.org
平成29年6月吉日発行

発行責任者 黒澤 敦（5期）

■編集／構成／デザイン
佐藤 久彰（13期）